

たこやき

お母さんは、ときどき
たこやきを買ってきてくれる

ぼくと弟のかいりとかぐや
それからお母さん

ぜんぶで四人

八このたこやきをわけ

「二人二個ね！」

ぼくは、すぐさま計算してみんなにわけた

気づくと皿は空

大好きなたこやきは

あつという間になくなる

「おなかいっぱいだから いいよ。」
お母さんがそつとたこやきをくれた

お母さんがおなかいっぱいじゃないこと
ぼくは 知っていた
知ってたんだけど

本当に知っていたんだよ
だけどたこやきは ぼくの口に

あつちや やつちやつた

お母さんが大好きな いちこのときは

ぼくが一つ

ぼくが一つ・・・

でも いちごも好きなんだよね